

企業

地域で

森を育む

企業・団体など

- 活動支援の申し込み・相談
- 森づくりの費用や労働力の提供
- 森の命名や案内看板の設置

森林所有者 (市町村など)

- 森づくりフィールドの提供
- 協働での森づくり事業
- 交流やPRの協力

協定

(3~5年)

「仕組み」

企業と森林所有者の協働の森づくりを、熊本県がコーディネート

熊本県 (コーディネーター)

- 森づくりフィールドの情報収集及び提供
- 企業と森林所有者のマッチング・仲介
- 地元との交流活動、森林整備活動の助言
- CO₂吸収量の証明書発行

「事業の流れ」

ご相談から森づくり活動などに至る流れ

1 活動内容の相談
活動のご要望をお聞きます

2 関係者との打合せ
フィールド調査、森づくり活動内容の検討

3 活動計画の作成
計画作成の助言・提案

4 活動協定の締結
企業・森林所有者間での協定締結(県の立会)

5 活動実施
活動の助言、技術指導



下草刈り作業をする人々



植樹作業をする人々

森づくりの事例

「JTの森 ゆのまえ」
(球磨郡湯前町)

日本たばこ産業(株)は、湯前町との間で、平成21年2月、「熊本県企業・法人等との協働の森づくり」初となる協定を締結し、間伐を中心に100haを超える森林整備に取り組むことになりました。熊本県立自然公園の一部でもある整備予定地には、トマトや葉たばこなどの農地に水を供給するための農業用ため池があり、森林整備による水源かん養が期待されています。また、年2回程度社員や家族が現地を訪れて、植樹などのボランティア活動や、地元との交流活動を行っています。



「JTの森 ゆのまえ」調印式



森林保全活動の取組み

「メリット」

協働の森の活動による企業の皆様のメリット

企業の森づくり活動への取り組みが
みどりの財産を次の世代へ引き継ぎます。

